

種別別明細書（増加資産・全資産用）の書き方（記載例）

◎令和4年中に取得した資産（他の市町村からの移動資産のほか、前年前までに取得した資産で申告漏れとなっていた資産を含む）について記載してください。

◎本市に初めて申告される方は、令和5年1月1日現在所有している全資産を申告してください。

《耐用年数》
 資産の耐用年数を記入してください。
 財務省の「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の別表第1、第2、第5及び第6に掲げる耐用年数を記載してください。
 ※中古資産について見積耐用年数によっている場合は、その耐用年数を記載してください。
 ※国税局長の承認を得て、短縮耐用年数によっている場合は、その耐用年数を記載してください。

《個人番号・法人番号》
 平成28年度の申告から個人番号及び法人番号の記載が必要です。個人番号の場合は12桁、法人番号の場合は13桁の数字になります。

《数量》
 取得した資産の数量を記載してください。

3枚のうち、2枚目というようにページ数を記載してください。

所有者名をページごとに記載してください。

《増加事由》
 該当する番号を○で囲んでください。

1	新品取得
2	中古品取得
3	移動による受入れ
4	その他

第二十六号様式別表一（提出用）

所有者コード		個人番号又は法人番号		種別別明細書（増加資産・全資産用）		所有者名		1枚のうち						
この欄は記載しないでください。		1234567891234				益田株式会社		1枚、目						
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	(イ)耐用年数	減価償却率	(ハ)課税標準の特例率	課税標準額	増加事由	摘要
					年	月	日							
01	1		路面舗装	1	S	4	10	1,500,000	20				① 2 3・4	
02	1		看板	1	S	4	10	500,000	10				① 2 3・4	
03	2		測量機	1	S	30	10	800,000	6				1・2 3・④	申告もれ
04	6		パソコン	2	S	4	11	500,000	4				① 2 3・4	(記載する必要はありません)
05	6		コピー機	1	S	4	5	500,000	5				① 2 3・4	
06	6		クーラー	1	S	30	7	500,000	6				1・2 3・④	申告もれ
07					S								1・2 3・4	
08					S								1・2 3・4	
小計								4,300,000					1・2 3・4	

《資産の種類》
 資産の種類に記載する数字は、下の表のとおりです。

番号	資産の種類
1	構築物
2	機械及び装置
3	船舶
4	航空機
5	車両及び運搬具
6	工具、器具及び備品

《取得年月》
 資産の取得年月を記載してください。年号の欄は該当する方を○で囲んでください。

S	昭和
H	平成
R	令和

《取得価額》
 資産の取得価額を記載してください。
 取得価額とは、償却資産を取得するために支出した金額をいいます。(引取運賃、荷役費、運送保険料、関税、その他その償却資産を事業の用に供するために直接要した経費を含みます。)
 法人税法及び所得税法の規定による圧縮記帳は、償却資産の評価上認められていませんので、圧縮前の取得価額を記載してください。
 消費税については、税込経理方式を行っている方は取得価額に含め、税抜経理方式を行っている方は取得価額に含めずに記載してください。

ページごとに取得価額の合計を記載してください。

《摘要》
 次のような事項を記載してください。

- 課税標準の特例がある資産については、その摘要条項
- 耐用年数の変更があった場合は、その旨の表示
- 申告漏れ資産の場合は、その旨の表示
- その他、その資産の評価に必要な事項

種類別明細書（減少資産用）の書き方（記載例）

- ◎令和4年度以前に益田市に対して償却資産の申告をされた方のうち、令和4年中に売却・滅失・他市町村への移動等で減少した資産について記載してください。
- ◎前年までに申告された償却資産の内容を印字した「種類別明細書（増減資産・全資産用）」を参照して記載してください。

《個人番号・法人番号》
平成28年度の申告から個人番号及び法人番号の記載が必要です。個人番号の場合は12桁、法人番号の場合は13桁の数字になります。

《取得価額》
同封の「種類別明細書（増減資産・全資産用）」の「取得価額」欄に記載されている金額を記載してください。

申告年度「5」を記載してください。

令和5年度

※所有者コード		個人番号又は法人番号※		種類別明細書（減少資産用）										所有者名		枚のうち
この欄は記載しないでください		1234567890123		1		H 20 10		500,000		10	1・②・3・4		①・2		1枚のうち	
行番号	資産の種類	末梢コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分			摘要	1枚目	
					年号	年	月				1売却 3移動	2滅失 4その他	1全部 2一部			
01	1	1	看板	1	H	20	10	500,000	10	5	1・②・3・4	①・2	廃棄	1枚目		
02	2	3	油圧機械装置	1	H	18	10	400,000	6	5	1・②・3・4	1・②	2台中1台滅失			
03	6	6	コピー機	1	H	23	5	450,000	5	5	①・2・3・4	①・2				
04	6	7	クーラー	2	H	24	7	500,000	6	5	1・②・3・4	1・②	3台中2台滅失			
小計								1,850,000								

《末梢コード》
「償却資産種類別一覧表」の「資産コード」欄の資産コードを必ず記載してください。

3枚のうち、2枚目というようにページ数を記載してください。

所有者名をページごとに記載してください。

《減少の事由及び区分》
資産が減少した事由及びその区分について、該当するものの番号をそれぞれ○で囲んでください。

※同封（前年度に償却資産の申告をされた方のみ）の「種類別明細書（増減資産・全資産用）」にある減少した資産の各欄を種類別明細書（減少資産用）に記載してください。

ページごとに減少した金額の合計を記載してください。

《摘要》
減少の区分が「2一部」に該当する場合は、具体的な減少内容を記載してください。
その他、当該資産が減少したことについて、必要な事項（移動先等）を適宜記載してください。

※所有者コード		個人番号及び法人番号※		種類別明細書（増減資産・全資産用）										所有者名		枚のうち
1012345670		12345670		1		H 20 10		500,000		10			益田 株式会社		枚	
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価率	価額	※課税標準の特例		増加事由	摘要	
					年号	年	月					率	コード			
01	1	0001	看板	1	H	20	10	500,000	10							
02	1	0002	看板	2	H	21	10	500,000	10							
03	2	0003	油圧機械装置	2	H	18	10	800,000	6							
04	2	0004	計量機	1	H	17	10	800,000	5							
05	5	0005	運搬具	1	H	21	11	500,000	4							
06	6	0006	コピー機	1	H	23	5	450,000	5							
07	6	0007	クーラー	3	H	24	7	750,000	6							
08	6	0008	パソコン	3	H	25	8	1,500,000	6							